

議 長	局 長 等	次 長	リ-ダー	担 当	合 議
					 

様式第6号 (第8条関係)

令和6年8月27日

養父市議会議長 様

養父市議会議員 勝地 貞一

政務活動概要報告書

政務活動の概要を下記のとおり報告します。

記

- 1 活動月日 令和6年7月29日(月)～30日(火)
- 2 活動場所 石川県珠洲市上戸町北方一 珠洲市役所及び市内
- 3 活動目的 能登半島地震における珠洲市の被災状況の視察及び珠洲市議会議員との意見交換

4 活動内容

珠洲市役所にて、珠洲市議会 番匠議長から能登半島地震における被害状況や復旧復興と避難者の現状についてパワーポイントにより説明を受け、養父市議会(会派やぶの未来5名)からの質問テーマに沿って珠洲市議会議員(議長を含む8名)との意見交換を行い、議長の案内による市内の被災状況を車で移動しながら視察した。

5 活動成果

珠洲市では、地震により全域で全壊、一部半壊まで住家5,468棟が被害を受け、更に海岸線では津波被害が飯田港で最大4.3mも発生した。

公共インフラの状況は発災当初、断水5,283戸、停電8,100戸であったが現在は復旧困難地域を除き復旧している。道路は高規格幹線道路が、仮復旧で片側1車線対面通行として40キロの速度制限をかけ利用している

発災当初議員の安否の確認では、避難所7人、自宅2人、車中泊など2人で、これらの確認が出来たのは1月9日であった。



今後の復興と議会の対応

- (1) 学識経験者や地区代表、市内各種団体所属者の計 20 名からなる復興計画の策定、評価、検証を行う「珠洲市復興計画策定委員会」の発足を行った
- (2) 令和 6 年能登半島地震からの復旧・復興に関する調査研究及び、復興計画策定にあたり、意見聴取や議会としての提言を行うため、議員 5 名からなる、「震災復旧復興対策特別委員会」を設置している。

今後の課題、被災地へどのような支援が必要か

- ・復興が遅れるほど人口の流出が激しくなり、地域コミュニティの存続が危ぶまれる地域もあり復活が必要。
- ・各集落の神社・仏閣の再建なども大きな課題となる。
- ・関係人口を増やすことが大切。移住・定住につなげることは難しくても、ボランティアや地域の行事に準備段階からかかわる人など定期的な来訪者を増やしたい。
- ・市民の声を行政に届け、復旧・復興計画の中で市民の生活を守り、前に向かって行くしかない。

市内におけるがれきの撤去や公費解体は、ようやく体制を強化して進み始めているものの道は遠いと感じ、復興は始まったばかり、息の長い支援が求められている。

被害状況、インフラの状況、避難状況、仮設住宅建設の状況と入居状況、議員・議会の活動状況などについて、実体験をお聞きし、データと現場を見ることの意義は大きく、混乱しているなかでの、我々の視察に真摯で対応していただいた珠洲市議会の議長様を始め議員各位に感謝し、一日も早い復旧・復興を願い報告とする。